

平和が丘防災タイムズ 第28号

平和が丘学区防災委員会

まだまだ暑い日が続いていますが、夜には虫の音が聞こえ始め秋を感じるようになってきました。

さて、平和が丘タイムズ28号では、学区内の防災活動についてご紹介いたします。

○ 平和が丘学区内の防災活動

(1) 学区総合防災訓練

学区ホームページでも紹介していますが、平成28年6月19日(日)に平和が丘小学校体育館において、「平成28年度平和が丘学区総合防災訓練」を開催し、関係者も含め総勢160名が参加しました。

各自治会からは、お子さんを含めて118名の方が参加され、名東区役所・名東消防署・平和が丘消防団・平和が丘学区防災委員の指導のもと、「心肺蘇生法(胸骨圧迫とAED取扱い)」「簡易間仕切りの設営・収納」「発電機と投光器の組立てと起動」の3項目の訓練を行いました。



今回の訓練では、それぞれの訓練時間を十分に用意したので、参加者全員が全ての訓練を実際に行うことができ、今まで以上に有意義な訓練になったかと思います。

(2) 自主防災会防災訓練

自治会の自主防災訓練計画がまとまり、既に実施済みのところもありますが、これから開催するところは、多くの住民の方の参加をお願いいたします。

自治会名	一丁目	二丁目	三丁目・ 日車マンション	四丁目北	四丁目南
実施日	11月下旬	11月26日(土)	10月9日(日)	6月4日(土)	9月11日(日)
場 所	防災センター	コミセン	第1公園	濁池公園	コミセン
実施内容	防災講話 ビデオ鑑賞 起震車	初期消火 応急手当 安否確認	初期消火 応急手当	初期消火 家庭内防災	AED訓練 三角巾 防災講話
自治会名	五丁目	八前三丁目	公務員住宅	光が丘ハイツ	平和が丘住宅
実施日	7月24日(日)	8月27日(土)	11月19日(土)	12月3日(土)	11月5日(土)
場 所	コミセン他	名大減災館	敷地内	敷地内	コミセン
実施内容	心肺蘇生法 防災講話 ビデオ鑑賞	防災講話 地震体験	初期消火 応急手当	初期消火 消火栓取扱 防災倉庫点検	AED訓練 三角巾 防災講話

※訓練の詳細は、各自治会からの案内をご確認ください。

(3) 自主防災会長研修・班長研修

- ①7月3日(日)に名東消防署において名東消防署主催の防災リーダー研修が開催され、平和が丘学区から9名の自主防災会長が参加されました。防災講話の後に被害状況の収集から、消火訓練、救出救護訓練、避難誘導訓練など災害対応としての一連の訓練を行いました。
(裏面につづく)

②7月9日(土)に名東消防署において、平和が丘学区主催の自主防災会班長研修を開催しました。自主防災会副会長や消火班長・救出救護班長・避難誘導班長など19名の方が参加され、3組に分かれて災害を想定した実践的訓練(震災シミュレーション訓練)が行われました。

(4) 防災あんしん調査票の実施

既に各ご家庭から提出されていますが、今年も第十三次防災あんしん調査票による調査を行い、徹底した個人情報管理の下、災害時の安否確認・救命救護、支援物資・支援金などの基礎資料、要援護者の事前把握に限定して使用させていただきますので、今後も積極的に記入し提出願います。また、まだ未提出の方は各自治会長に早急に提出願います。

○スポーツ推進委員の役割と活動

昭和36年に制定された「スポーツ振興法」において体育委員制度が発足し、平成23年に成立した「スポーツ基本法」により名称を「スポーツ推進委員」と変更しました。

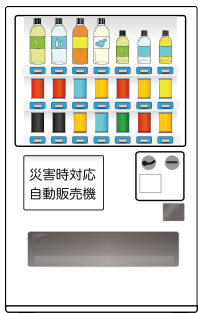
平和が丘学区にはスポーツ推進委員が3名おり、スポーツに関する指導(実技含む)および助言とスポーツ推進のための連絡調整、学区体育委員のとりまとめなどの役割を担っています。

地域住民の方がスポーツを実施することで、体力の向上、心身の健康の保持増進に効果を発揮し、スポーツを通じた交流により地域社会における絆を強める等の一助となるべく活動しています。

学区の皆さまにおかれましても、積極的に体を動かし『「やろまい運動・スポーツ」でナゴヤ元気UP!』にご協力いただきますよう、お願い致します。



□防災お役立ち情報(災害対応型自動販売機)



メーカーによって「災害支援型」や「災害対応型」等の呼び名がありますが、内容は「地震などの災害発生時に、手動操作や通信ネットワーク技術を活用した遠隔操作で、自動販売機に搭載された電光掲示板に災害情報を表示させたり、本体に残っている飲料を無償で提供する機能」を有した自動販売機です。飲料メーカーの各社が提供しています。

設置例はまだ少ないですが、自動販売機の設置主と飲料水を提供するメーカー間での「災害支援協定」に基づいて設置され、この近くでは名大キャンパス内の自動販売機の多くが対応しています。また、公表はされていないものの企業やマンションの災害対応として独自に設置されているケースもあるようです。

東日本大震災や熊本地震でも活用されており、コンビニの「災害時帰宅支援ステーション」のように統一したステッカーではないですが、「災害支援」と書かれたステッカーが貼付されているようなので、近所の自動販売機も見てみてください。

<編集後記>

9月4日に平成28年度名東区総合防災訓練が亀の井の名東小学校で開催され、平和が丘学区防災委員も13名が参加してきました。真夏日のように暑い中、地域住民や小学生・関係団体など約1,600人の方が参加し、避難所設営や倒壊家屋救助訓練など12種目の訓練が行われました。

災害時には地域で助け合う「共助」がとても重要であり、そのために定期的な訓練や日頃からの役割分担の明確化が大切だと改めて感じました。併せて、「共助」は災害時に自分の身を守る「自助」すなわち家具の転倒防止や、非常食・避難グッズの準備など各自の防災対策があつてこそ出来るものだとも感じました。(編集 前島)

